

# 桜地蔵

## 津波桜がお地蔵様に

桜守りの会 会長 遠藤 定治  
事務局 藤中 郁生

会員 18名＋1団体（＊）

（＊）チームしらかし華の会（神奈川県大和市）  
伊藤 健一（本日の代理出席者）

# 2011年3月 被災直後



”旧第一小学校分校校庭、第二保育所の庭、  
そして授産施設うみねこ園の園庭、名前は  
変われど、ずっと子供達と過ごしてきた桜“



(朝日新聞)

桜は女川の町花。約30年前、  
日本花の会が贈った桜だった。



# 2011年4月 花が咲いた！



なんとか再生できないかとの  
依頼を受け、大和市の樹木医  
さんに相談したところ、ネットで  
呼びかけてくれ、日本花の会が  
支援表明。

5月17日朝、教育長経由にて町長に説明し、  
桜再生の了解をもらう。

日本花の会に連絡し、翌日、来てくれることにな  
った！





# 2011年5月 救出作戦

18日、日本花の会)田中さん・田崎さん到着



トラックで、  
チェンソー、  
水タンク  
持参

どこを、どう切るか？



まず、上の枝



幹切断の瞬間



手のこも使って



麻布の菰巻き・水やり



19日昼頃、南郷町より畳到着



20日、畳を敷き、200リットルの水を撒いて完了



これを機会に、  
女川桜守りの会発足

そして2012年4月  
女川日本花の会設立  
に至る

# 2011年 その後



“おながわ災害 FMの  
若者たちが、”さくら  
たん”の愛称を付けて  
腹巻き看板を作って  
くれ、町行政の力も  
借りて、保護活動が  
始まりました”



”桜は、芽を出し、必死に生き残ろうとしました。その姿は、めげそうになるわたし達を励まし、  
がんばれと叱咤しているかのようでした”



”しかし、秋が来たとき  
生きている枝や葉は  
一つもありませんでした”

結局、2012年5月に  
日本花の会樹木医さん  
により、枯死診断が  
下されました。



# 2012年5月 伐採



女川桜守りの会の幟

お酒を掛けて、  
さくらたんを労う(掛けてる方が、元教育長の新会長 遠藤さん)



さくらたん最後の記念写真



チェーンソーで根際を切断



”尚、2011年9月、枝が  
まだ残っているときに大島桜  
に接いださくらたんの芽は  
1本だけですが順調に育って  
います”



# 2012年11月 桜地蔵作戦



”さくらたんの切り株をどのように生かしてゆこうかと  
みなで考えていたところ、女川に視察に来られていた  
お坊様から、桜の樹は堅くて、いい仏像ができるとの  
お話を頂き、そのような生まれ変わり方もあると  
知りました”

”その後、津波桜の経緯をお聞きになった、京都で工房  
を開いておられる若手の木地師、仏像彫刻家である  
小田健太郎氏に彫って頂けることとなりました”



京都)綴喜郡井手町の“たくみの里”にある小田氏工房に運搬



小田氏作品：  
毘沙門天





# 2014年3月開眼法要に向けて

糸川

月

(明日種郵便物認可)

## 津波桜で地蔵菩薩作り

東日本大震災

城陽・小田さん「心に安らぎを」

同年11月、井手町にある小田さんの工房に、伐採し

地蔵菩薩像の制作を進める小田さん（井手町で）

地蔵菩薩像に生まれ変わった桜の幹の部材（直径、高さともに約60センチ）2個が到着。小田さんは仕事の合間を縫って、高さ約40センチの地蔵菩薩像1体を粗彫りし、

地蔵菩薩像に生まれ変わった桜の幹の部材（直径、高さともに約60センチ）2個が到着。小田さんは仕事の合間を縫って、高さ約40センチの地蔵菩薩像1体を粗彫りし、

地蔵菩薩像に生まれ変わった桜の幹の部材（直径、高さともに約60センチ）2個が到着。小田さんは仕事の合間を縫って、高さ約40センチの地蔵菩薩像1体を粗彫りし、

来年3・11  
開眼供養

女川の公園お堂に安置



地蔵堂も製作予定

地蔵菩薩像に生まれ変わった桜の幹の部材（直径、高さともに約60センチ）2個が到着。小田さんは仕事の合間を縫って、高さ約40センチの地蔵菩薩像1体を粗彫りし、

園に、お堂を設けて安置する予定。

現在も仮設住宅で生活する住民グループの藤中郁生さん（65）は「娘もこの桜を見て育ってきた。枯れたのはつらいが、地蔵菩薩像として生まれ変わって、地域の子どもたちを見守ってくれらるだろう。津波の伝承にも役立つ」と語る。

小田さんは「像を見ることで被災地の人々の気持ちが少しでも安らぐことを願いながら作業しています」と話している。



桜守りの会では、このお地蔵様が津波で亡くなられた  
たくさんの方々の鎮魂となり、津波伝承のシンボルと  
なることを願っています。

また、いつも身近で子供達を見守って頂けるお地蔵様  
となっただけのよう、桜のあった大原のあたりに  
地蔵堂を建立しお祭りしたいと考えています。

そのため、基金を設立し、将来的な維持管理も含めて  
活動してゆきたいと思っています。

ぜひとも、皆様のご協力をお願いいたします。



女川桜守りの会  
会長 遠藤 定治



連絡先⇒ 女川町浦宿浜十二神60－3－19

女川桜守りの会事務局藤中郁生

0225－53－3411

090－1937－3411

寄付金振込先 郵貯銀行 普通口座

女川桜守りの会田村忠義

店番818 番号0838554

記号18100 番号8385541



# 女川日本花の会・女川桜守りの会の活動例



**十万本の桜計画**

女川・桜守の会

10万本の桜が鎮魂と復興の、そして津波伝承のシンボルとなりますよう。

はじめての一步！  
**大漁桜植栽**

**2012.3.17 大漁桜100本**  
**2013.3.16 同上 50本**  
**鉢・ポットに植栽**

連絡先 090-1937-3411 事務局 藤中

後援 公益財団法人 日本花の会 支援 東日本大震災花とみどりの復興支援ネットワーク



2013.4.6 学校林 桜広場への植栽



2012.11 堆肥仕込み



2013.6.25  
鹿対策



2013.5.25 伐採跡地への植栽



## (参考) チームしらかし華の会について

チームしらかし華の会は、下記の事業を行っています。

### (1)被災地の緑化を通しての復興支援

大和市の公園“泉の森”のアジサイから挿し木で育てた苗を、宮城県女川町に届けて植栽しています。

### (2)大和駅東側プロムナードガーデニング

女川町と同じ桜とアジサイをテーマとして駅前プロムナードにガーデンを作り、女川情報をポスター掲示しています。



2011年4月設立、

所在：神奈川県大和市

会員数 15名

ホームページ：

<http://www.geocities.jp/teamsirakasi/>

あるいは

チームしらかし

検索